



<本年度クラブ会長方針>

繋ごう『クラブの心』、築こう『クラブのさらなる繁栄』を

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 丹下富博 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8口イナルビル6F
幹事 大上晃延 電話(052)251-0181 FAX(052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

第1931回例会

環境月間
令和6年4月18日(木)
地区研修協議会報告

於名古屋東急ホテル
出席計算数 61名中47名出席
出席率 77.05%
前々回出席率 98.31%
31.05%

例会プログラム

★地区研修協議会報告

ロータリーソング

「我らの生業」

指揮者 鬼頭 茂成
ピアノ伴奏 富板 玲子

ニコボックス

ハイワイ例会おつかれ様でした。楽しかったです！
母下 富博
大上 晃延

ハイワイ例会ありがとうございます。尾上さんありがとうございます。
柴岡 正将
母下会長御苦勞様でした。
岩崎 征一

ハイワイ例会に行かれた方おつかれ様でした。
西垣亜矢子
母下会長ハイワイ例会おつかれ様でした！
宇野 史仁

ハイワイに同行して頂いた皆様大変お世話になりました。杉本 忠夫
ハイワイ例会のお陰で禁煙に成功しました。木村 光徳
母下会長はじめハイワイでは大変楽

しい時間を過ごせました。ありがとうございました。吉田 隆彦
とございまして。
ハイワイ例会おつかれ様でした。

岡村 隆徳・深谷 昭広
内藤 啓喜・西脇 良輔
杉井 健・田崎 雅三
藤田 澈・加藤巳千彦
木村さん、川島さん、杉本さん、ありがとございまして。河合 誠弥
尾上さんありがとうございます。横井 衛
河合誠弥さん地区研修協議会ありがとございまして。横川 誠人
加茂田さんクラブ奉仕委員会発表よろしくお願ひします。

鬼頭 茂成
誕生月です。天国への階段が待っているのか地獄の門が待っているのか、これからの5年が勝負の時です。(苦笑)がんばります！
照井 栞

珠洲市講演会、無事に終わりました。内藤さん協力ありがとうございました。
渡辺 観永
観桜会、多数ご参加ありがとうございました。今年はいよいよ咲きました。
堀江 英弥

誕生月です。
鷺津 光悦
柴岡さんありがとうございます。尾上 昇

会長挨拶

ハイワイ例会初日については、すでにワイクリーにも載っておりますので二日目からお話をさせていただきます。



二日目はカネオヘクリッパ(Keanohe Kipper)へ。オハマ元大統領がハイワイ滞在中にプレーするゴルフコースとして知られているクリッパゴルフコースはカネオ海兵隊基地内にある為、ミリタリー関係者でないとアクセスできないゴルフコースです。バックナインは海沿いに設計されていて絶景なので、結婚式会場としてもミリタリー関係者に人気のスポットです。基地内は軍人の家族が住んでいて1つの町のようになっているのが地味に入るので、事前にゲートでセキュリティチェックを受けてから入場します。

二日目の夕食は吉田隆彦さんのお気に入りのレストラン「ベルニニ」に行きました。2011年ハイワイに誕生し、イタリアンの力シユアルさんにフランス料理を融合させた、創造性あふれる新感覚のフューション料理、海と大地のエネルギーがもったハイワイ特有の食材を使い、日本人の繊細な感性をもって調理する、情熱に満ちた美しくクリエイティブな料理



三日月の夕食は吉田隆彦さんのお気に入りのレストラン「ベルニニ」に行きました。2011年ハイワイに誕生し、イタリアンの力シユアルさんにフランス料理を融合させた、創造性あふれる新感覚のフューション料理、海と大地のエネルギーがもったハイワイ特有の食材を使い、日本人の繊細な感性をもって調理する、情熱に満ちた美しくクリエイティブな料理



二日目の夕食はホノルルの地元レストランの「サイドストリートイン」にいきまして、ワイキキからUberで10分くらいの



二日目の夕食は吉田隆彦さんのお気に入りのレストラン「ベルニニ」に行きました。2011年ハイワイに誕生し、イタリアンの力シユアルさんにフランス料理を融合させた、創造性あふれる新感覚のフューション料理、海と大地のエネルギーがもったハイワイ特有の食材を使い、日本人の繊細な感性をもって調理する、情熱に満ちた美しくクリエイティブな料理



で、地元ハワイの方も多く訪れています。

とても楽しかったハワイ例会でしたが、ワイキキにはびっくりするくらい日本人が少ないです。現在、ハワイ入りの日本人は一日2,200名ほど、これはコロナ前といえますか田安さんの32%だそうです。

三年後の国際大会はホテルで開催されるようですのでぜひ多くのメンバーと行きたいと思います。



■地区研修・協議会報告

次年度クラブ奉仕副委員長

加茂田 義幸

私が参加した、第2分科会では「魅力的で持続可能そして、成長する例会を創る」というテーマで前研修実行委員長である古田嘉白さんと、ロータリーの友事務所代

表理事・ロータリーの友委員長である古田野孫左門さんの講演がありました。

まず、古田さんからは「温故知新 例会について考えてみよう」という事でお話がありました。コロナ以降、例会が多様性をもって運営されることになったが、一方で原理原則が曖昧になっていないか？ロータリーは職業交流を通じて奉仕の精神を育む事が目的であり、その中で例会は会員同士が親睦を図る重要な場であるので、例会の内容や出席義務、メーカーシップ等について今一度考えるところに、新しい会員にも伝えていってほしいとの事でした。

続いて、高野さんからは「元氣なクラブを目指して」という事で、過去に国際ロータリーが実施したアンケート結果から導かれる、望ましいクラブ運営についてお話がありました。

アンケート結果では、何故ロータリーに参加したか？という質問に対して、以下の順に回答が多かったとの事でした。

1. 地域奉仕活動
 2. 地域社会を超えた奉仕活動
 3. 友情と親睦
 4. プロフェッショナル
- リーダーシップ開発の機会
これらの回答から、導かれる望ましいクラブ運営として、
- ・まずは、参加して楽しい事、

- ・会長や委員長がメンバーから適切な信頼を得ている事、
- ・自己成長の機会が担保されていること、
- ・貴重な人間関係が築ける例会となっていること、
- ・奉仕活動が意義あるものとして実感が得られる内容になっていること

が重要ではないかとお話でした。以上のような充実したクラブ運営の結果、メンバーの帰属意識が高く、意義ある奉仕活動が積極的に行われているクラブこそが、次世代へと続いていく継続性のあるクラブと言えるのではないかと、自身のクラブの10年後の姿を想像し、柔軟性と継続性のある計画を立て、実行していくってほしいとの事でした。



■地区研修・協議会報告

次年度社会奉仕委員長

田崎 雅二

次年度、社会奉仕委員長を仰せつかりました田崎です。宜しくお願いいたします。4月7日、地区

研修・協議会では第5分科会に出席させて頂きました。今年度は職業奉仕委員会と同席での分科会でした。

第5分科会のテーマは「ロータリーのマジックにより持続可能な大きなインパクトを与えよう。」サブテーマは「四つのテストを超え我々の奉仕の実践です。また、この分科会は吉川公章カバナーエレクトの要望で、ティーチング形式ではなくラーニング形式で実施されました。地区委員会の皆さんのご挨拶では基本方針などのお話は多くはありませんでしたが、次期地区ロータリー奉仕委員長 長瀬輝代(きよこ)様(名古屋守山RCC)の挨拶に、クラブ奉仕、国際奉仕、社会奉仕、職業奉仕、青少年奉仕に加え、インターアクト、ロータリーアクト、RYLA(ライラ)が一体となって奉仕活動をしていく事を目指していきたい旨のお話がありました。

地区社会奉仕委員会は社会奉仕、環境保身、RCCの3つの小委員会に分かれて活動されていて、次期社会奉仕委員長 加藤久雄様(名古屋葵RCC)が社会奉仕を担当されます。次期社会奉仕副委員長 片平博己様(江南RCC)が環境保全を担当されます。次期社会奉仕副委員長 高橋信郎様(瀬戸RCC)がRCCを担当されます。地区委員のご挨拶の後には臨席し

ました12人単位の各ロータリー社会奉仕委員長グループに地区担当者がお一人ついて各クラブの次年度活動予定の発表をする形式となりました。

私が参加したグループには次期社会奉仕委員長 加藤久雄さんがオブザーバーとして参加されました。加藤さんのお話しの中にロータリーの社会奉仕とは、ロータリーアン一人ひとりの個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励、育成することであり、この奉仕の理想の適用を實踐する中で、各ロータリークラブはさまざまな社会奉仕活動を開発し、会員に多くの奉仕の機会を与える。すなわち、社会奉仕委員会はロータリーアン一人ひとりの超我的奉仕を實踐する機会のきっかけをつくる委員会であって欲しいというご指導がありました。また、RCCを重視していきたい旨のお話がありました事もお伝えいたします。

以上で地区研修・協議会 第5分科会 社会奉仕委員会のご報告



とさせていただきます。

■地区研修・協議会報告

次年度職業奉仕委員長

加藤口千彦

ごんには、次年度職業奉仕委員長を努めさせていただきます。加藤でございます。地区研修・協議会の報告をさせていただきます。

第5分科会は社会奉仕委員会と同じ会場です。職業奉仕委員会のテーマは「ロータリーのマジックにより持続可能な大きなインパクトを与えよう。」四つのテストと超我の奉仕の実践」であります。

次期地区委員長、次期地区分区分幹事、次期地区スタッフの挨拶に始まり、次期地区副委員長の自己紹介の後、分科会の研修に入りました。

今回の研修は例年と違いティーチング形式からラーニング形式で開催され、10人程度のグループに分かれ、グループごとに地区の職業奉仕委員の方が入られて、各グループの今までの職業奉仕委員会の



活動内容や次年度の職業奉仕の活動をどのように考えているのかについて、各グループの職業奉仕委員長が発表し、地区職業奉仕委員の方がコメントする形式で進められました。

日本のロータリーでは「OO Service」を「OO奉仕」と表現していますが、日本では「奉仕」という何か自己犠牲を伴うイメージがあるため、これが職業奉仕という言葉に難しんでいると言われておりました。Serviceというのは、人の役に立つ働きのことであり、職業そのものが人の役に立つので、全てのロータリアンの仕事は「人の役に立つ仕事であり、すべて価値ある仕事である」と言えるのだと仰って見えました。

人の役に立つ仕事を通して利益を上げ、その利益の一部をロータリアンとして各種奉仕活動の財源として協力していただいている。全ての関係者に幸せになっていた。だということが、職業奉仕の本質であります。そのためにもお客様に満足を提供し、ビジネスを安定したものにすることがあります。

今年度(2023年7月1日)の地区職業奉仕委員会の活動は、①ロータリーの「OO奉仕」の意味 ②ロータリアンは「Serve」が基本 ③ロータリーの「四つのテスト」に照らし合わせた会社案内

を通して仲間の会社のビジネスを理解して、自分の会社の社是・社訓・経営理念・経営方針を「四つのテスト」に照らし合わせて、今一度、検討していただき会社のホームページに掲載してみよう、という活動を行いました。

次年度は、地区職業奉仕委員が「四つのテスト」を実践して経営している会社を見つけて出し、今年の10月23日に開催される地区職業奉仕委員会会議にて発表する予定です。

次年度の職業奉仕委員の活動として、①四つのテストを意識した会社案内 ②四つのテストを意識して経営されている会社の「会社訪問」 ③各グループで来年1月の職業奉仕強化月間に卓話を行うという3つの活動を地区の職業奉仕委員会が支援していくということを発表されて研修が終了となりました。

以上で地区職業奉仕委員会の研修・協議会の報告とさせていただきます。

■地区研修・協議会報告

次年度国際奉仕委員長

木村 光徳

2021～22年度地区国際奉仕活動(ラオスでの簡易水道敷設事業)のトラブルを教訓として。

1:今年度の地区国際奉仕委員会の活動方針

a. 地区自らは国際奉仕活動を 実施しない。

b. 地区内各グループの国際奉仕活動を促進、活性化するための情報収集(各グループへのアンケートの実施)、情報提供(地区協)、アドバイス等の提供に徹する。

2:アンケートの内容、結果。

a. 各グループの国際奉仕事業の 実績の有無

有り 46 無し 28

b. 財団補助金を活用した 国際奉仕事業実施の有無

有り 22 無し 22

c. 今後新たに計画している 国際奉仕事業の有無

有り 13 無し 24

d. 地区内各グループで最近 実施した国際奉仕活動事業の概要を教えてください。

地区内各グループで実施した国際奉仕活動がら6事業の紹介があった。又、日本国内での国際奉仕活動もら6事業が紹介された。具体的な内容として、



・自治体との連携による国際交流フェアへの参加。

・外国籍の子供たちの教育支援。

・外国人の運転免許、飲食業許可の取得支援。

・公共施設の利用ルールの教育。

等の説明があり、国際奉仕事業に関わった事無いクラブも国内での国際奉仕事業ならスタートしやすいのではとの提案があった。

■地区研修・協議会報告

次年度青少年奉仕副委員長

堀江 英弥

第7分科会青少年奉仕委員会の報告をさせていただきます。

青少年奉仕委員会は「日本の未来のために青少年と共に進もう」をテーマにインターアクト委員会・ローターアクト委員会・RYLA委員会・青少年交換委員会と学友委員会の5委員会合同の分科会が開催されました。地区ロータリー奉仕委員会の長瀬委員長が挨拶で各委員会は横の繋がりをもって行動を行ってほしいと発言され、各委員会の説明に入りました。

インターアクト委員会は12歳から18歳の会員で構成され、2760地区には17のクラブがあり30のロータリークラブから提唱されていて、インターアクト会員が奉仕プロジェクトや活動を通じて国際感覚を養っていくなどの説明と現状

についての話がありました。

ローターアクト委員会はローターアクトの説明と現状報告があり、財団の資金が使えるようになり、国内外で奉仕事業が出来るようになりました。2760地区は9クラブ165名が現状ですが、減少気味なのでぜひ増員をしていきたいので、協力をお願いしたい、ということでした。

RYLAは14歳から30歳の若い人たちのプログラムで、地区内の若い人々とロータリアンが参加でき、青少年指導者となる人の育成援助するプログラムです。

青少年交換委員会は高校生の世界への派遣と受け入れをすることで国境を越えた友情と信頼を築く機会を与えるプログラムです。スポンサークラブの不足やホストファミリー不足などの現状についての説明がありました。因みに、今年度は渡辺さんの子弟、渡辺唯加さんの派遣とベルギーから1名の受け入れが決定しております。

学友委員会はインターアクトなど12のプログラムに参加した、経



験のある人の集まれる場所を作り、地域に貢献したいと思うリーダーを育成したり、いろいろなリーダーのプログラムを紹介したり、参加することが出来ます。ちなみに会長は名古屋大須R.C元派遣青少年交換学生の山田葵さんです。



■米山奨学生挨拶(4月4日例会) エンバヤル・ホフン

名古屋大須ロータリークラブの皆様こんにちは。米山奨学生のエンバヤル・ホフンです。本日は国際ロータリー第2760地区第32回RYLAセミナーについてお話をさせていただきます。

3月30日と31日、国際ロータリー第2760地区第32回RYLAセミナーが豊田市で二泊二日にわたって行われ、私が参加してきました。まず、このセミナーに推薦して頂いた名古屋大須ロータリークラブや、セミナーが行われた場所に送っていただき、また迎えに来てくださった、渡辺観水さんに感謝の気持ちを申し上げます。

私はRYLAセミナーの時に第5分科会に配られました。グループには大学生が3名、社会人が2名でほかの人達が高校生でした。開講式が終わった後は違う教室に



移動し、夢とは、また「夢を語ることで自分と他人に与える影響」というテーマでグループディスカッションを行いました。グループディスカッションを行なった後に豊田野外センターへバスで移動し、BBQをしました。お肉やうなぎが非常においしくて、いっぱい食べながら、皆さんと楽しい時間を過ごせました。その後はキャンプファイヤーが行われ、グループごとにキャンプファイヤーの出しものがあり、日本と外国の遊びに触れ合うことができ、面白かったです。多くの人と友達になり、お話をできて嬉しかったです。



グループの「夢とは、また「夢を語ることで自分と他人に与える影響」というテーマで自分と他人に与える影響」という結果になりました。これには2つの要素があります。

一つ目は自分が持っている夢を叶えた人を見て自分も叶えようと思つたことです。例えば、「私は日本へ行って、日本の大学に入りたい」という夢を持っていました。その夢をかなえたところ、他の人が私と同じく日本へ行きたいという夢を持つことを表しています。

二つ目は、叶えても新しい夢が生まれるということになります。

皆さんも夢が叶ったとしても、また次々と夢が出てくるのではないのでしょうか。

最後になりましたが、私は国際ロータリー第2760地区第32回のRYLAセミナーを通して、皆さんの夢を聞き、また、夢について様々な視点から考え、自分の夢や目標を再確認できた貴重な時間となり、非常に嬉しく思っています。

これで本日の挨拶は以上となります。ご清聴ありがとうございました。

(原稿を原文のまま掲載)



5月22日(木) 例会の案内

定款規定により休会(祭日週)

*憲法記念日・みどりの日

5月9日(木) 例会の案内

SPEAK OUT DAY

・ショート卓話地区研修実行委員会

の役割について

地区研修実行委員長

照井 葵さん

5月16日(木) 例会の案内

卓話

「わが愛する町」有松

竹田嘉兵衛商店

代表取締役社長 中村 敏子さん

(紹介者:堀 暉子さん)

公共イメージ向上委員会

近藤 明美・小澤 幸男

松本 哲朗・桑山 光俊

*本文は、原則 頂いた

原稿を転載しています。